



平成 19年1月1日 発行

牛久市シルバー人材センター広報部会
牛久市女化町859-3
電話029-871-1468
e-mail usiku@sjc.ne.jp

会員数 男性 390名 女性 135名 合計 525名



§ 年頭の言葉 § 美しい事業の展開

社団法人 牛久市シルバー人材センター
理事長 赤松泰三



新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様、ご家族の皆様お元気で、新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年度の目標、美しい国造りとは首相の言葉、シルバー人材センターの目標は総務、事業、安全、広報の四部会の活動により美しい事業の展開をする年である。

例えば地域班の設立、自主事業の発案等であり、今後の発展が期待できます。

次に団塊世代の初期が本年度より始まります。

高齢者となる団塊の世代が楽しんで日常を過ごせる就業の機会を創造し、参画す

る産業の在り方を変える程、重要な事項と考えるべきでしょう。

そこでシルバー人材センターは常に就業の機会を捉え、創造と開発に力を注ぎ、高齢者が歩んだ経験と技能を発揮できる環境を創り、ムダ、ムラ、ムリこの三つの意味を解し事業の拡大をはかるべきである。

更に我々会員のシルバー事業は地域の発展及び地域産業の進歩に欠かせない事業であり、高齢者が誇りをもち、健康な道を進むことこそ最高の美しい姿である。

会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

あけましておめでとうございます 役員一同

事務局	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副理事長	副理事長	理事長
一同	池井一夫	坂井平男	高嶋明	宮本久夫	鴨志田透	中山俊秀	根岸幹和	馬淵弘志	武石よしい	久保田直登	正田晶	糸澤良男	神戸文夫	安田安次	鈴木伊平	赤松泰三



インフォメーション広場



◆趣味悠々について

文芸欄もにぎやかになって参りました。
もう少しスペースを広げようと計画しています。
どんどん応募して戴き、「シルバーだより」が楽しい趣味の話題で溢れるようにしたいですね。
原稿は事務局へお持ちいただければ結構です。

趣味悠々

川柳

悩みから 解放されて 認知症
—井上 梅太—

暖冬に 悲喜こもごもの 野菜かな
木枯らしに となりの落葉 ぐちも出る
年を越し エンマ大王 声近く
—クボハゼ—
家事共に 対話はまめに 夫婦仲
—三木—

俳句

山すそや 蚊を払いつつゴミ拾う
—井上 梅太—
日溜まりを 仲良く譲る 冬花壇
年の瀬や 手応えシカと 鮭さばく
—金巖閑話—
千年の 木漏れ日散らす 秋の寺
—三木—

短歌

飽食の 副産物のさまざまな
不法投棄を 炎暑に拾う
—井上 梅太—

◆事務局からのお知らせ

あけましておめでとうございます。

●今の就業先以外に新たにチャレンジしてみたい人や、今の就業時間以外の時間に更に働きたい人はお気軽に事務局までご相談ください。

●多種多様な発注元（お客様）のニーズに対応するべく、会員のみなさんの資格やキャリアの追加申請を受付けています。

●総務部会が中心となり、地域班の設立を進めています。

1月19日（金）保健センターにて、中央ブロックの会員さんを中心に説明会を実施しました。

ふすま・障子張り講習会風景 -H18.11.13~14-
総合福祉センター・創造の家にて



【シルバー人材センターと福祉】—後編—

シルバー人材センターは超優良介護予防推進事業所

本年度から介護保険制度に介護予防が取り入れられた。介護予防とは、できるだけ介護状態にならないようにすること。たとえ介護状態になってもそれ以上に悪化しないようにする取り組みであります。

この介護予防という言葉は、一般的には数年前から言われた言葉であるが、シルバー人材センターとしては、25年も前の創設時からバックボーンとしてあったといえます。それはシルバー人材センターは働く場を提供し、健康で働く意欲のあるものには、働くことによって社会参加の機会を得、健康の増進を図り、地域社会に貢献するということを目的としていたからであります。

しかもシルバー人材センターは、一般の介護予防とは異なり、会員となることによって、生きがいを感じ、代価（配分金）を得ながら働くことが介護予防につながっているということなのです。

↑ 介護保険の財源は、個人の支払う保険料と公費（税金）とでまかなわれており、介護予防は急激な保険料の増加を抑えるために導入された制度でもあり、シルバー人材センターで働くことによって、健康が保持できることになれば、市の財政上にも役立ち、街の活性化や明るい街づくりにも貢献していることにもなり、シルバー人材センターは、超優良「介護予防推進事業所」と言えるのではないのでしょうか…。



安全部会だより



あけまして おめでとうございます。

今年もすでに「安全運転講習会」が、スタートいたしました。

2月は各作業現場に訪問します。「安全就業パトロール」を予定しております。

訪問の際には会員の皆様より、是非ご意見、要望などお聞かせください。

また、訪問出来なかった職場の皆様にはお手数ですが、電話等でご意見を頂ければ大変有り難く、今後の安全就業推進の参考とさせて頂きたいと思えます。

本年も、会員の皆様と共に、“安全第一、事故ゼロ”をめざして頑張りましょう。

◎自転車愛用の皆様へ

最近自転車が加害者となる事故が増加していて、他地域では死亡事故まで発生しています。

それは、自転車の運転マナーの悪さや、道路交通法違反 が原因なのです。

そこで交通ルールの簡単な問題を○か×で答えて下さい。

第一問 車道の自動車の往来が激しければ、どんな歩道でも通行して良い。

第二問 雨が降っていたので、傘をさして運転した。

第三問 夜間にライトを必ずしもつける必要はない。

答えは第一問 × 歩道を通行していいのは、普通自転車通行可の標識がある歩道に限る。違反すると、3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金。

第二問 × 傘をさして運転すると5万円以下の罰金。

第三問 × 夜間にライトをつけないと、5万円以下の罰金。

以上おわかりのように自転車の交通ルールを破ると罰金や懲役が科せられる事になります。

★ ライトは早めの点灯を心がけて自転車も車も安全運転をしましょう。

★ 事故の場合は必ず警察を呼びましょう。



<<<事故ゼロをめざして>>>

「安全就業推進経過報告」

最近の事故、怪我の発生状況			累計
10月～12月末日	件数	発生状況（概略）	4月～12月
就業途上、帰途の交通事故	1		3
自動車、バイク	1	バイクで帰宅途中、車と接触、横転し骨折。	2
自転車、徒歩	0		1
就業中事故、怪我	0		0
蜂、毛虫等の被害	0		0
墜落、転落	0		0
飛来物落下	0		0
転倒	0		0
機械、器具取扱中	0		0
車両積降作業中	0		0
物損 賠償事故(客先への損害)	0		0
合計	1		3



理事会だより

理事・監事研修会 報告

平成18年10月22日(日)
以才伴 基崎にて 馬淵弘志 記

テーマ：シルバー人材センター事業の展開と理事の役割

茨城県シルバー人材センター連合会・会長片山元雄氏の「…センターの理念や高齢化社会に対する位置づけが定着していない。単に就業機会を増やすための手段であるとの認識をただしていく事がこれからの理事及び会員に課せられた課題である」との提言を軸にして、講師の世田谷区SCの会長である竹内弘氏が「理事の職務と役割について」示唆に富んだ講演を行った。…「理事は活動のいかに事務局にまかせるのでなく、

事務展開の主体となるよう行動していかなければならない。…だまっても事業は拡大するという考えではだめ、センターがボランティア活動や働く高齢者の拠点になるような事業を展開し、自主事業を創り出していく事である。…センター事業に対する補助金が徐々に削減されている現在、組織の改革が迫られている。…理事は明確な目標を持ちセンターの活性化のために行動する。」との厳しい内容の講演であった。



専門部会の活動紹介

総務部会：

地域班設立の説明会を行いますので、会員の皆様のご出席をお願いいたします。日程・会場等については、後日事務局から本人宛通知いたします。この説明会は、地域班設立について皆さまにご理解とご協力をいただくための、大変大事な説明会なので是非出席をお願い致します。

事業部会：

リサイクル品カタログ販売が理事会の承認を得て、9月25日に福祉センター売店の端にオープンの運びとなりました。12月迄に数件の売買が成立しました。尚リサイクル品カタログ販売の展示場所が一目で分かるように売店の工夫を重ねている所です。又、懸案であった剪定班の人材確保は、ハローワーク経由で土浦市産業技術専門学

院の現場先を訪ね、牛久市在住の受講者3人と合うことが出来、一つのルートを付けることが出来ました。

安全部会：

安全部会は安全巡回パトロール・安全運転講習等々「事故ゼロ」をめざし活動しております。しかし現実には厳しく、残念ながら事故件数はやや増加の傾向にあります。会員の皆様には、改めて「事故ゼロ」を目標に行動して頂くようお願い致します。

広報部会：

11月に地域班活動設立とリサイクル品カタログ販売立ち上げの特集記事を載せた臨時号を発刊致しました。この2事業は牛久シルバー人材センターの新たな取り組みとして注目される所です。今後もその動向を皆様にお知らせしていきたいと思ひます。

こんにちは

就業先・紹介

- 取材月日 : 平成19年1月12日(金)
- 訪問先 : 坂巻農園 (牛久市小坂町)
- 耕地面積 : 2町歩
- 栽培種類 : 主に白菜、メロン、(カボチャ)
- 農作業内容 : 集荷時に包装、つるの分け保護、軽トラに積み込み等
- 話の内容 : シルバー人材センターと長くお付き合いをし、農業技術を教えたい。今後は現在の作業内容にさらに植え付け等から出荷までを契約出来る様になればよい。
- 取材感想 : 小坂町の鎌倉街道を前に、広い2町歩の畑の中に坂巻様ご夫妻が白菜の出荷をしているところにおじゃまをし、



親切丁寧に明るい笑顔で話しをしてくださいました。シルバー人材センターの方は熱心に仕事をしてくれますと、お褒めのことばを頂きました。これから益々高齢化が進む中で農作業の受注拡大が予想されます。坂巻様ご協力有難うございました。